

1. 件名：1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去作業に係る面談
2. 日時：令和4年7月8日（金）10時00分～11時15分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

星主任研究調査官、佐藤管理官補佐、木原室長補佐、佐藤室長補佐、松田室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー（TV会議システムによる出席）

敷地全般管理・対応プログラム部 担当者

1～4号周辺屋外対応PJG 担当者2名

1～6号機械設備G 担当者

放射線防護G 担当者

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、1号機及び2号機非常用ガス処理系（以下「SGTS」という。）配管の一部撤去作業の工程及び切断配管から取得するデータについて、資料に基づき説明されるとともに、以下の点について口頭で説明があった。

<SGTS配管の一部撤去作業の工程>

- 撤去作業の工程について、作業順序の変更は検討しているが、作業方法は変更しない予定である。
- 今年6月に切断作業を実施し切断途中となっている箇所について、落下防止等の措置を講じる予定である。

<切断配管から取得するデータ>

- 今年5月に切断したSGTS配管について、現在はコンテナに入れて保管中であるが、再度コンテナから取り出して、汚染密度の測定等を実施することは可能である。

○東京電力の説明に対して、原子力規制庁から以下の点を指摘した。

<SGTS配管の一部撤去作業の工程>

- SGTS配管の一部撤去作業のみならず、当該作業を実施しているエリア全体に対して、作業による影響を整理して説明すること。
- 今年6月に切断作業を実施し切断途中となっている箇所について、雨水流入防止等、配管内部の環境を変化させない措置を講じること。
- 「SGTS配管撤去の信頼度向上対策（案）」の計画内容を説明すること。

- 工程の入れ替え等を行う場合は、作業の優先度を踏まえた検討を行うこと。
- SGT S 配管内のウレタンの健全性確認等、当該作業に係る実施計画審査時に確認した事項への対応方針については、改めて整理した上で説明すること。

<切断配管から取得するデータ>

- 切断配管に対する汚染密度測定、線量率測定、スミア採取等について、測定対象、測定箇所を明確にした上で、記録すること。
- 切り出した配管サンプルについて、サンプル保管中に配管内側の調査がしやすいよう、保管方法等を検討すること。

○原子力規制庁からの指摘に対して、東京電力から了解した旨の回答があった。

6. 資料

- 1 / 2号機SGTS配管周辺工事のリスク低減のための工程組み替え
- 事故調査項目

以上